

沖合・以西底びき網漁業のデータブック



上段：第十五・十六海幸丸（125トン、愛媛県八幡浜漁業協同組合所属）
下段左：ノドグロ（アカムツ）、下段右上：エボダイ（イボダイ）、下段右下：ヤリイカ

2019年10月

一般社団法人 全国底曳網漁業連合会

1. 一般社団法人 全国底曳網漁業連合会の概要

- (1) 設立 1971年6月19日(2012年4月1日に一般社団法人へ移行)
- (2) 所在 東京都港区西新橋1-11-3
- (3) 目的 底びき網漁業に関する調査研究、知識の普及及び技術の向上に努め、海洋水産資源の保護、管理及び利用並びに底びき網漁業の経営の安定と振興に関する事業を行い、もって国民経済の繁栄に寄与すること。
- (4) 会員 正会員 22(各道府県に所在する底びき網漁業に係る団体)
准会員 4(底びき網漁業を行う個人又は団体)
- (5) 会員所属許認可隻数 沖合底びき網漁業 312隻、以西底びき網漁業 8隻

2. 目的

沖合・以西底びき網漁業は、地域によって、漁船規模、操業・水揚形態、漁業経営等の状況が異なることから、各地域の状況等について定期的にデータを収集しデータブックを作成することにより、本会会員の共通認識を得るとともに、本会の事業運営等の検討に資するものとする。

3. データブックの内容

- (1) 生産量の推移 . . . P2 図 1
 - (2) 生産額の推移 . . . P2 図 2
 - (3) 収支状況の内訳 . . . P3 図 3
 - (4) 許認可隻数の推移 . . . P4 図 4
 - (5) 船齢別稼働隻数 . . . P4 図 5
 - (6) 船齢構成の推移 . . . P5 図 6
 - (7) 地区別の漁船規模 . . . P6 図 7
 - (8) 地区別の乗船員数 . . . P6 図 8
 - (9) 乗組員の年齢構成 . . . P7 図 9
 - (10) 漁業経営体構成比 . . . P8 図 10
 - (11) 都道府県別許認可隻数 . . . P8 図 11
 - (12) 漁業根拠地別漁法別隻数 . . . P9 図 12
 - (13) 地域別主要魚種・水揚げ金額(2018年漁期) . . . P10 図 13
 - (14) 参考資料
 - ① 底びき網漁業の漁法イメージ . . . P13 図 14
 - ② 主要漁港における生産量に沖底が占める割合及びその順位 . . . P14 表 1
 - ③ 沖合底びき網漁業が地域に与える経済効果 . . . P14 表 2
 - ④ もうかる漁業・がんばる漁業の取組状況 . . . P15・16 表 3
 - ⑤ 漁船リース事業の取組状況 . . . P17 表 4
 - ⑥ 各地域の操業状況等の概要 . . . P18 表 5
 - ⑦ 各地域の資源管理の取り組み . . . P19 表 6
- データブックに関する問い合わせについて . . . P20

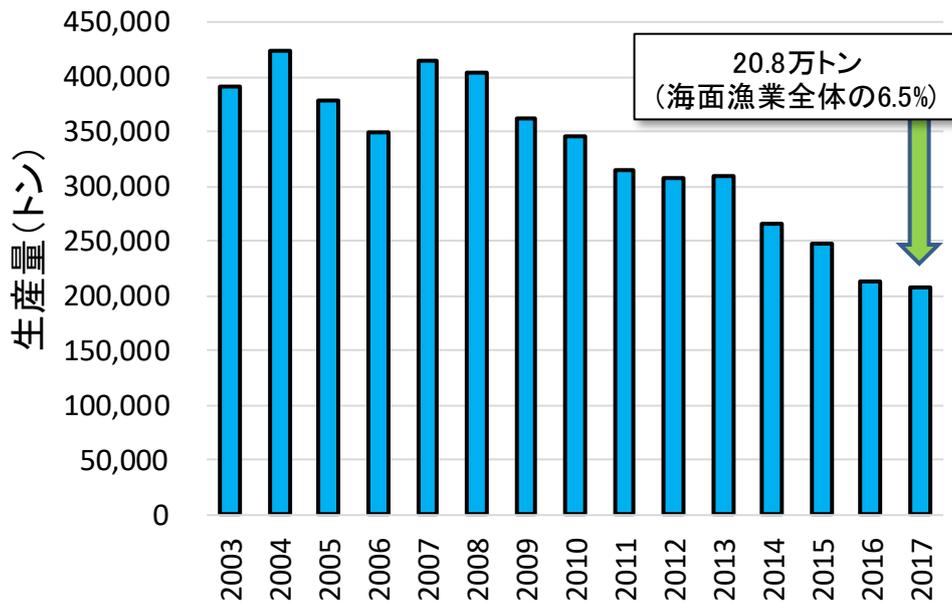


図1 生産量の推移（沖合底びき網漁業）
 （農林水産省 海面漁業生産統計調査より作成）

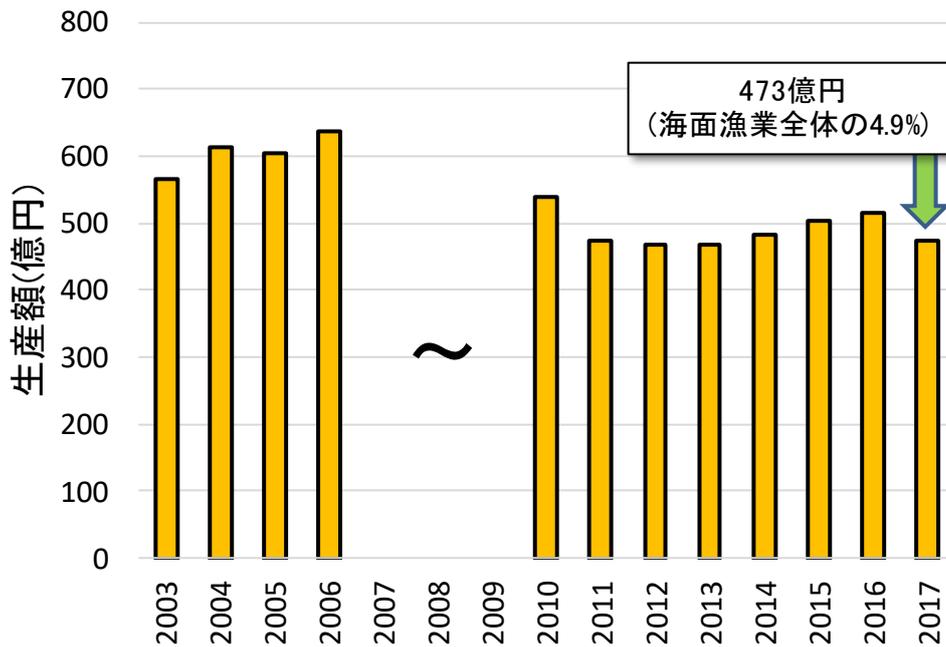


図2 生産額の推移（沖合底びき網漁業）

※2006年以前は農林水産省 海面漁業種類別生産額累年統計より作成
 ※2010年以降は全底連調べ（会員所属船のみの数値）

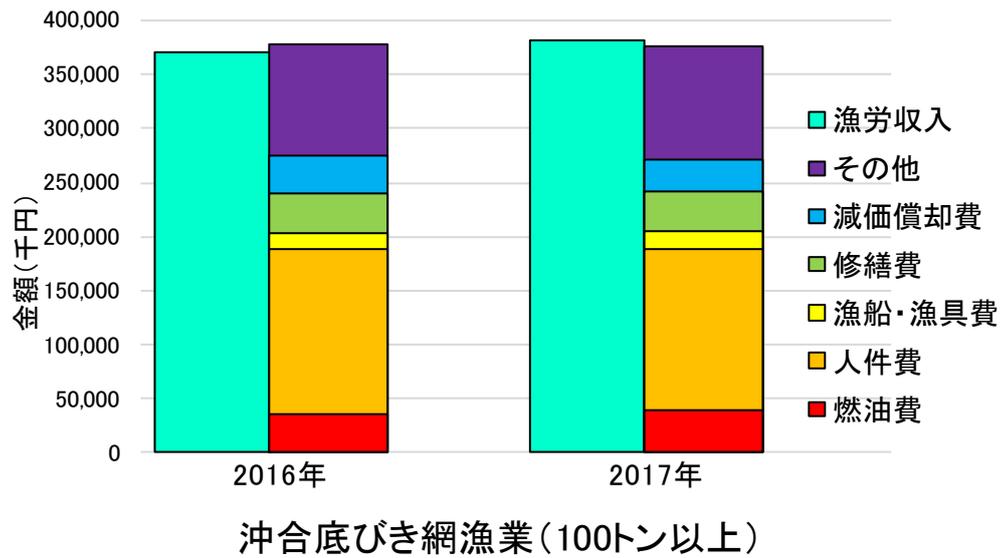
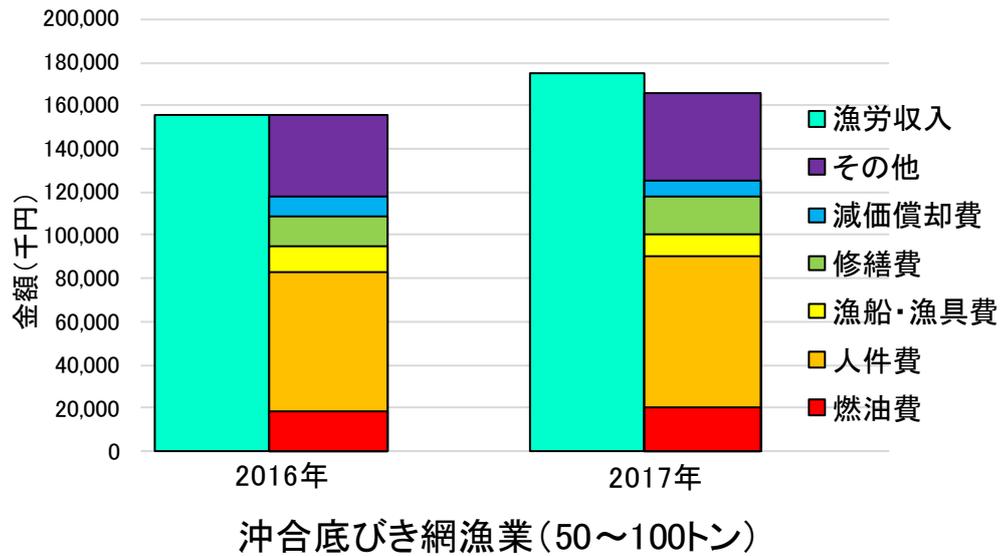


図3 収支状況の内訳 (出典：農林水産省 漁業経営調査報告)

※2016年より漁船規模 (50～100トン、100トン以上) のみで分類

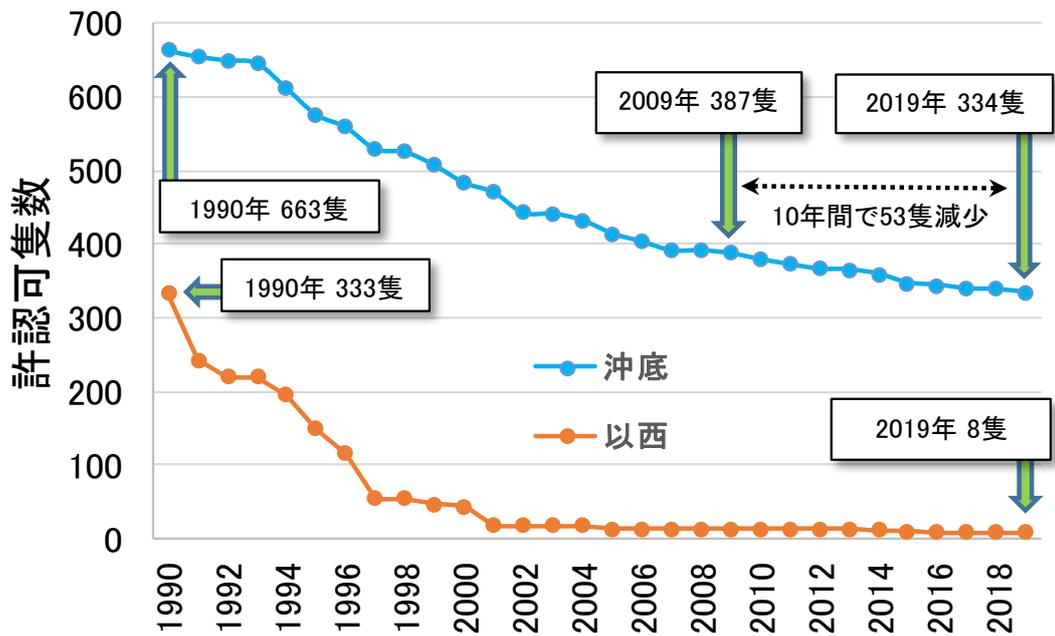


図4 許認可隻数の推移 (各年1月1日現在)

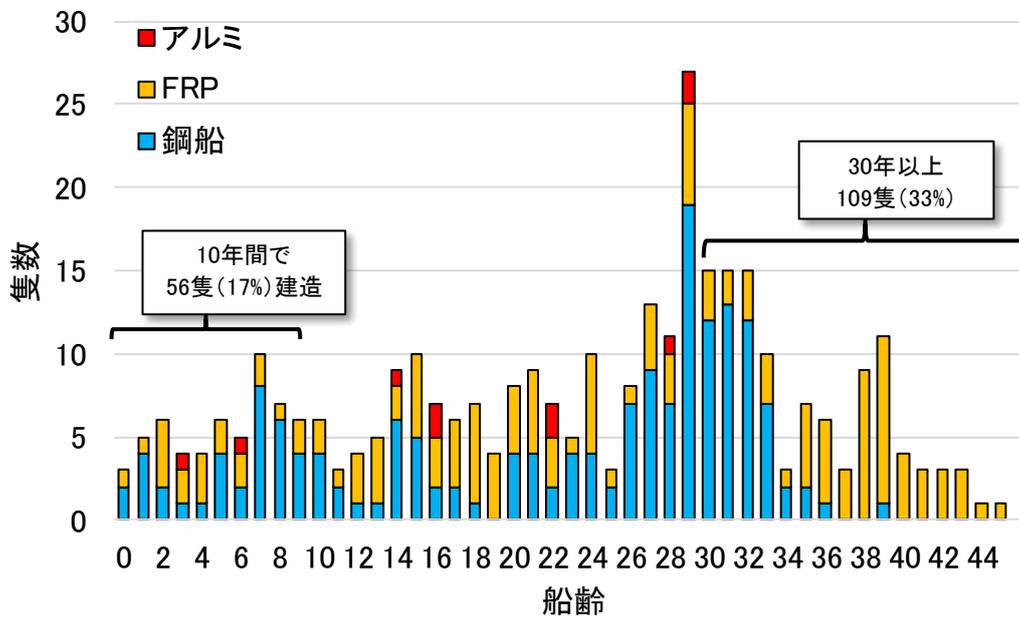


図5 船齢別稼働隻数
(2019年1月1日現在、沖底・以西合計327隻)

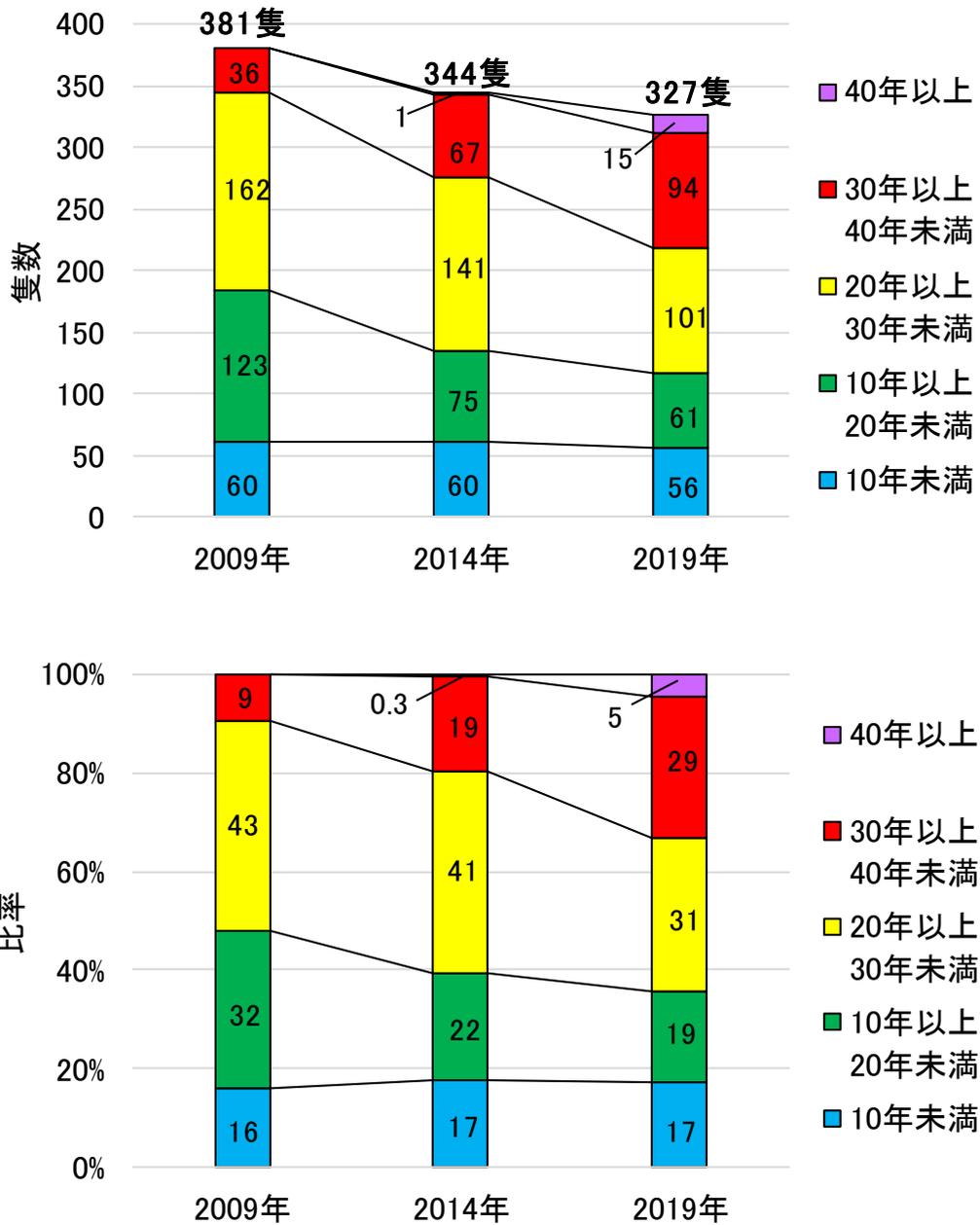


図6 船齢構成の推移
(沖底・以西合計、上：隻数 下：比率)

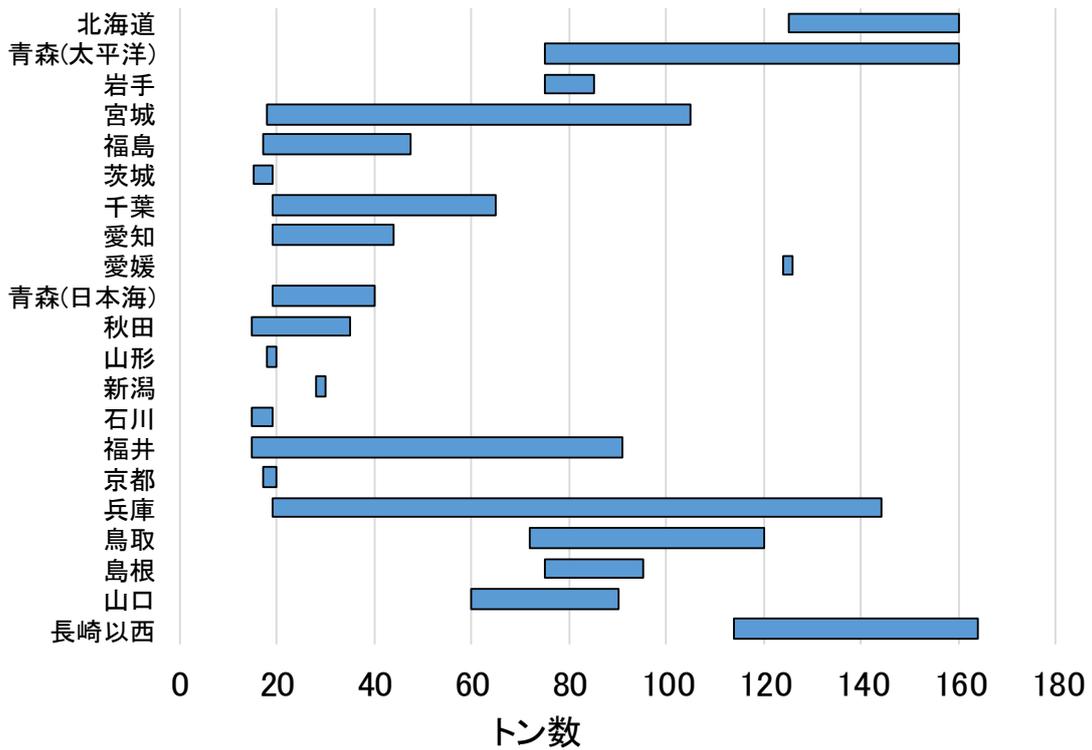


図7 地区別の漁船規模

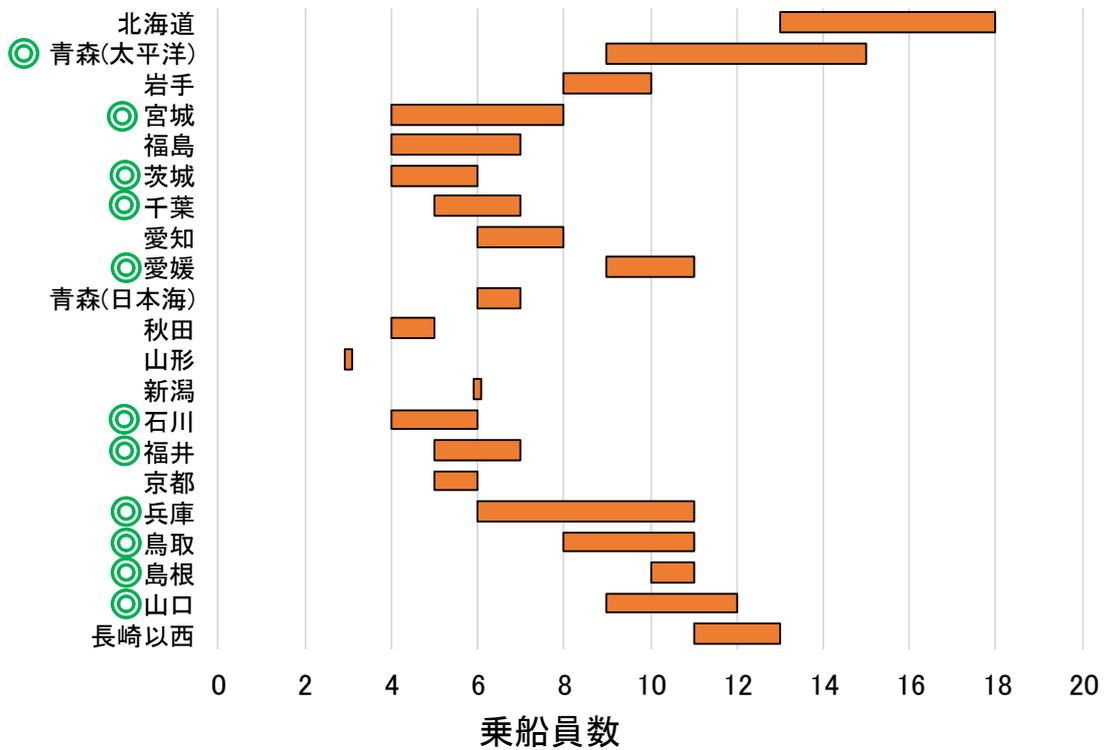


図8 地区別の乗船員数 (※)

※◎印は外国人技能実習制度による受入れを実施

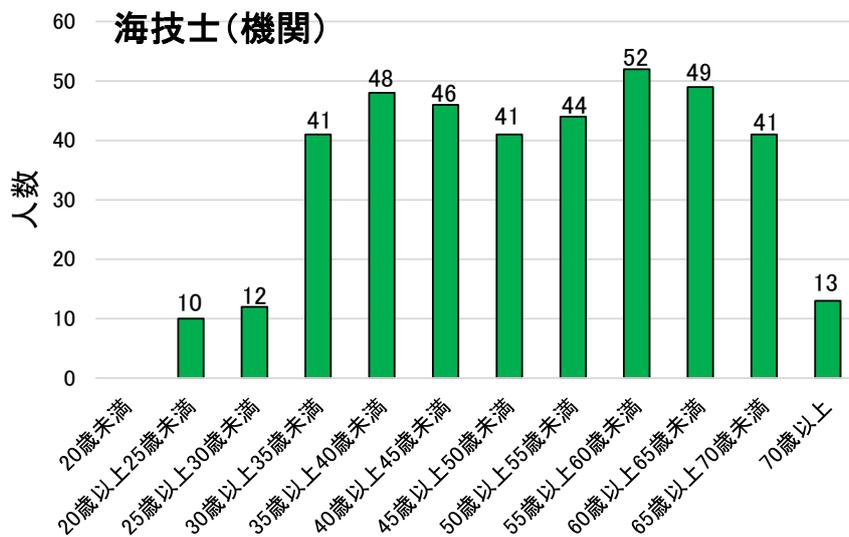
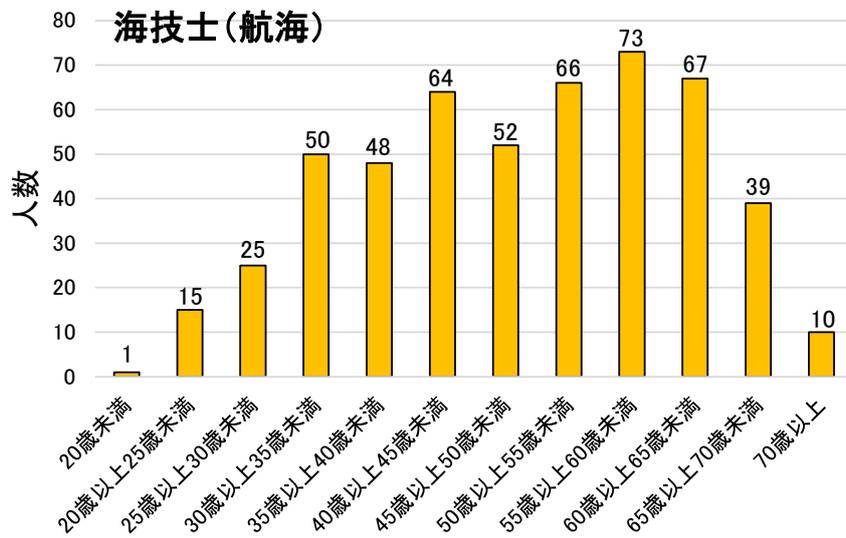
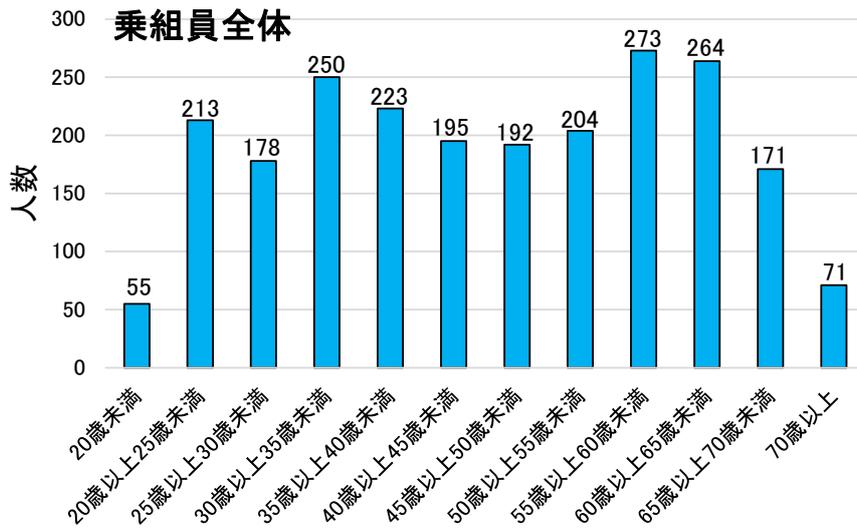


図9 乗組員の年齢構成 (2018年9月現在)

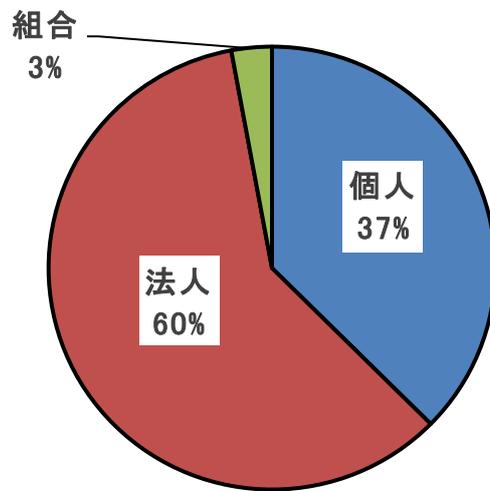


図 10 漁業経営体構成比
(沖底・以西合計、2019年1月1日現在)

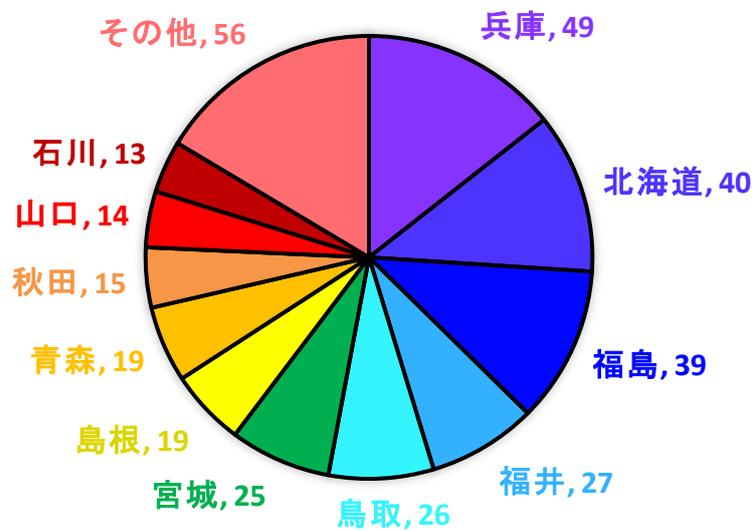
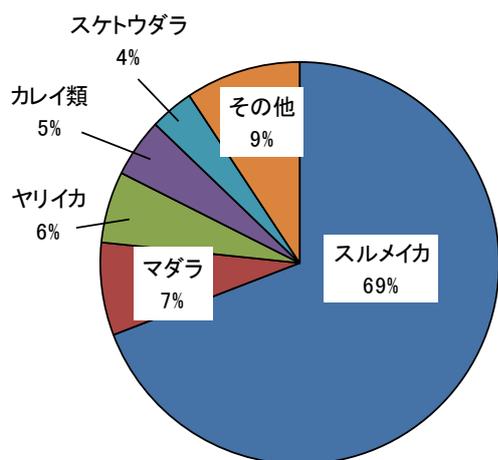
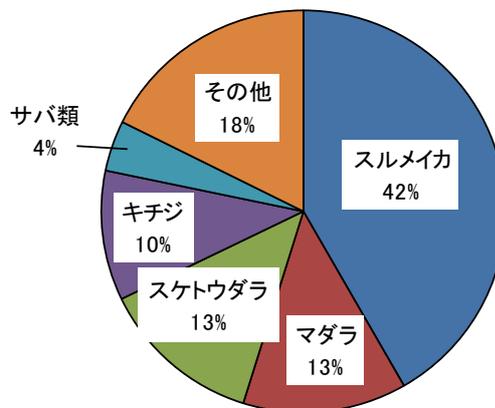


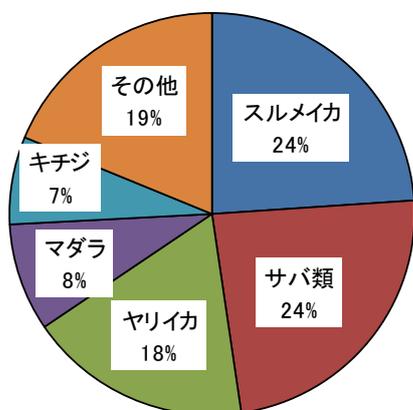
図 11 都道府県別許認可隻数
(沖底・以西合計、2019年1月1日現在)



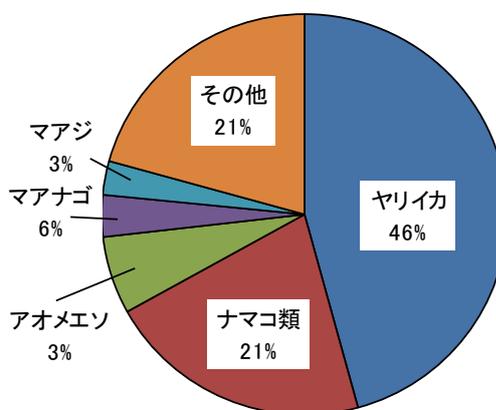
青森県・太平洋側
(かけまわし)
204.4 百万円/隻



岩手県
(2 そうびき、かけまわし)
184.4 百万円/隻

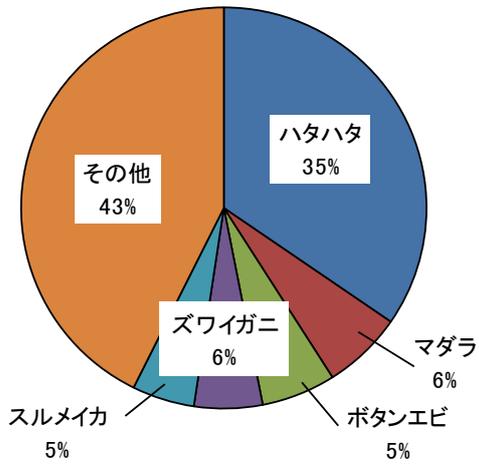


宮城県・65～75 トン型
(1 そうびきトロール)
234.4 百万円/隻

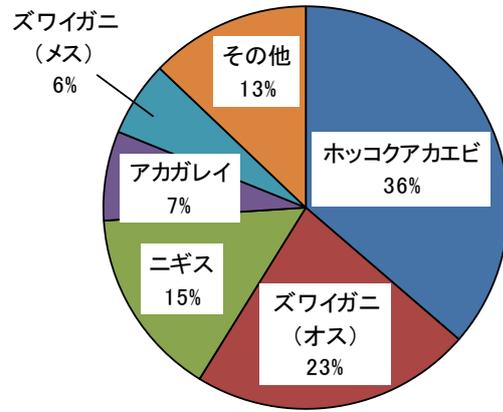


千葉県
(1 そうびきトロール)
124.6 百万円/隻

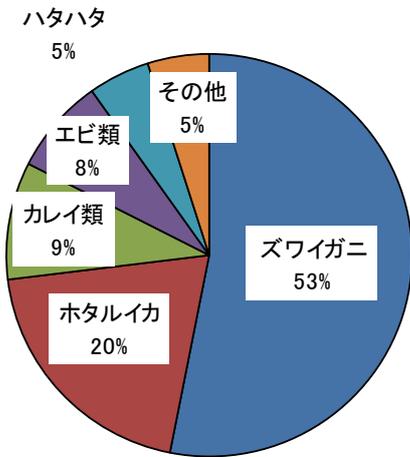
図 13-1 2018 年漁期 地域別主要魚種・水揚金額 (太平洋北区)



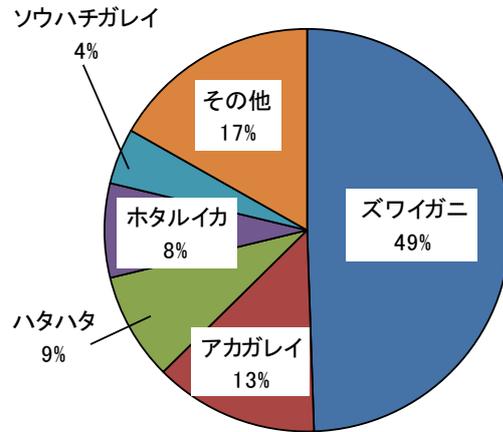
秋田県
(かけまわし)
28.1 百万円/隻



石川県
(かけまわし)
85.7 百万円/隻



兵庫県
(かけまわし)
169.2 百万円/隻



鳥取県
(かけまわし)
199.9 百万円/隻

図 13-2 2018 年漁期 地域別主要魚種・水揚金額 (日本海北区・西区)

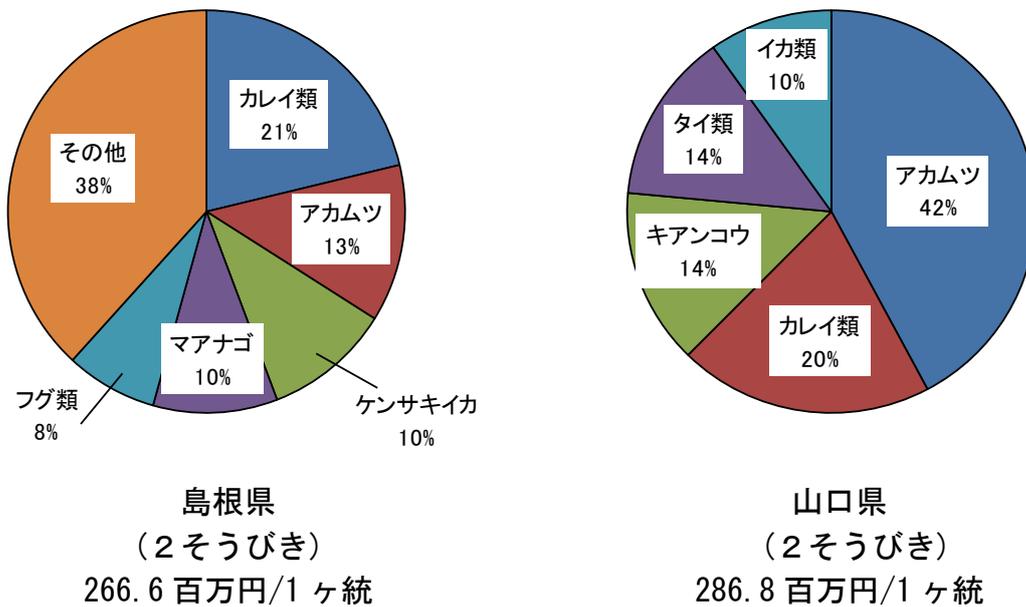


図 13-3 2018 年漁期 地域別主要魚種・水揚金額 (日本海西区・2そうびき)

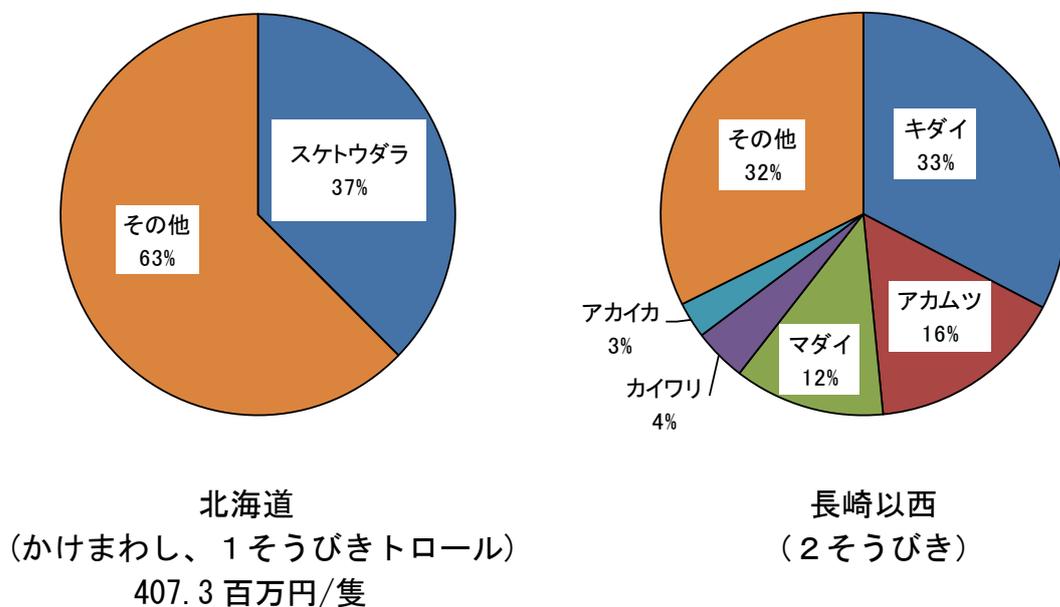
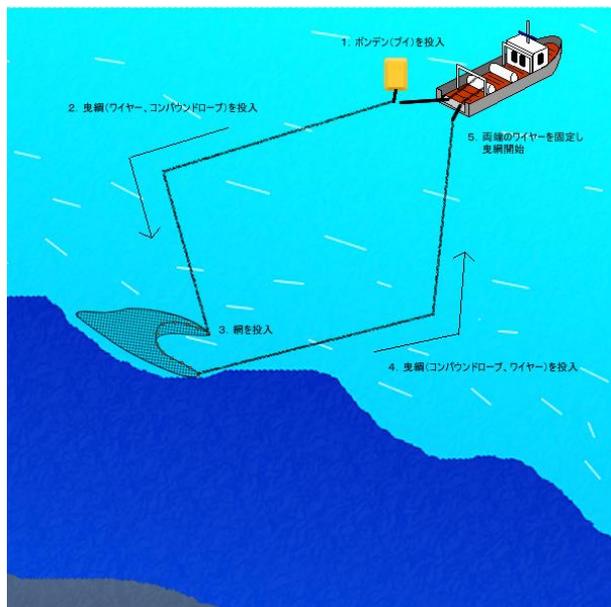
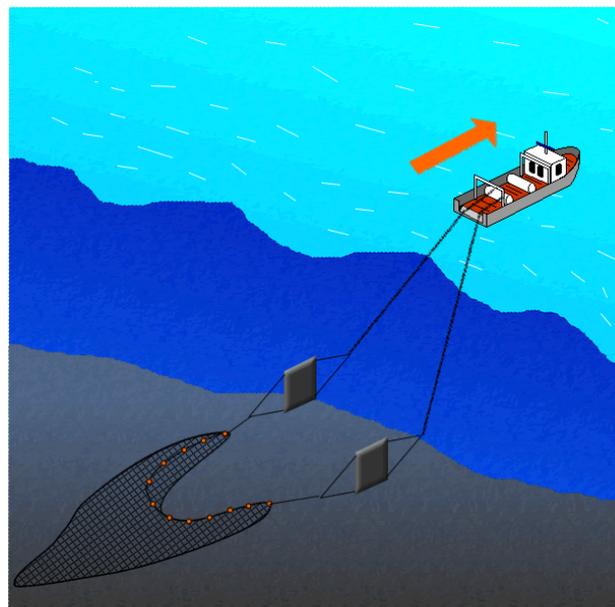


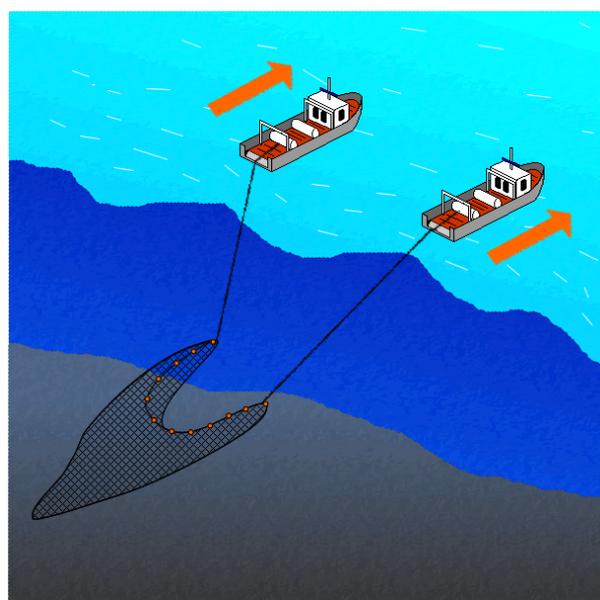
図 13-4 2018 年漁期 地域別主要魚種・水揚金額 (北海道区、長崎以西)



1) 1そうびきかけまわし漁法



2) 1そうびきトロール漁法



3) 2そうびき漁法

図 14 底びき網漁業の漁法イメージ

表 1 主要漁港における生産量に沖底が占める割合及びその順位
 (出典：水産庁漁港漁場整備部 漁港港勢の概要 平成 27 年)

港名	年間陸揚量 (トン)	沖底の陸揚量 (トン)	比率	順位
八戸港 (青森県)	111,421	12,537	11.3%	3
石巻港 (宮城県)	94,605	14,520	15.3%	2
平潟港 (茨城県)	1,418	892	62.9%	1
形原港 (愛知県)	895	503	56.2%	1
八森港 (秋田県)	635	220	34.6%	1
橋立港 (石川県)	1,001	537	53.6%	1
越前港 (福井県)	4,510	546	12.1%	3
間人港 (京都府)	282	155	55.0%	1
浜坂港 (兵庫県)	3,086	2,870	93.0%	1
網代港 (鳥取県)	1,232	1,095	88.9%	1
浜田港 (島根県)	15,277	3,210	21.0%	3
下関港 (山口県)	9,549	5,508	57.7%	1

表 2 沖合底びき網漁業が地域に与える経済効果 単位：百万円

地区	① 水揚金額	② 操業費用	③ 水揚物による 生鮮・加工品 生産額	④ ③にかかる 関連発注額	⑤ 水揚物による 観光産業への 影響額	合計 (地域への 経済効果)	影響額 /水揚額 (水揚額 の何倍)
釧路 (北海道)	3,894	2,156	3,788	294		10,132	2.6 倍
宮古 (岩手県)	2,730	1,282	3,016			7,028	2.6 倍
石巻 (宮城県)	2,810	1,670	3,441			7,921	2.8 倍
越前町 (福井県)	1,086	362	178		2,057	3,683	3.4 倍
浜田 (島根県)	1,941	725	3,679			6,345	3.3 倍

※釧路、石巻、越前町、浜田は全底連試算。宮古は岩手県底曳網漁業協会試算。

表3 もうかる・がんばる漁業の取組状況（2019年9月現在）

道府県	事業名	プロジェクト運営者	地区	事業実施者	認定日	船名	実証期間	タイプ	終了	実施中
北海道	もうかる	北海道機船漁業協同組合連合会	室蘭	室蘭漁業協同組合	2007.09	第11萬漁丸	2008.09～2009.08	改革型	○	
						第72萬漁丸	2009.09～2012.08	改革型	○	
			小樽	小樽機船漁業協同組合	2008.07	第81桂丸	2010.02～2013.01	改革型	○	
						4隻	2015.04～2018.03	経営多角型	○	
			釧路	釧路機船漁業協同組合	2009.10	第15富丸	2010.09～2013.08	改革型	○	
稚内	稚内機船漁業協同組合	2012.10	第71永伸丸	2013.10～2016.09	改革型	○				
				2015.02	5隻	2015.04～2018.03	経営多角型	○		
青森県	もうかる	青森県漁業協同組合連合会	深浦	深浦漁業協同組合	2011.08	第28豊漁丸	2013.09～2015.08	改革型	○	
岩手県	がんばる	岩手県底曳網漁業協会	宮古	宮古漁業協同組合	2012.03	第5・8欣栄丸	2012.07～2015.06	新船導入型	○	
					2013.02	第11・111勝運丸	2014.04～2017.03	新船導入型	○	
					2015.01	第53・58稲荷丸	2017.09～2019.08	新船導入型	○	
	もうかる	岩手県底曳網漁業協会	宮古	宮古漁業協同組合	2016.05	第8・18豊富丸	2018.02～2021.01	改革型		○
宮城県	がんばる	宮城県漁業協同組合	石巻①	渡波漁船漁業協同組合	2012.12	第3福寿丸	2013.02～2015.01	新船導入型	○	
					2012.08	10隻	2012.09～2015.08	既存船活用型	○	
		宮城県沖合底びき網漁業協同組合	石巻②	宮城県沖合底びき網漁業協同組合	2015.12	9隻	2016.04～2019.03	既存船活用型	○	
						第37八興丸	2017.02～2020.01	新船導入型	○	
福島県	がんばる	福島県漁業協同組合連合会	相馬	福島県漁業協同組合連合会	2019.07	23隻	2020.09～2025.08	生産回復型		
千葉県	もうかる	千葉県水産振興公社	銚子	銚子市漁業協同組合	2008.02	富丸	2008.06～2011.05	改革型	○	
					2010.12	第1吉代丸	2012.06～2015.05	改革型	○	
					2015.02	利早丸、第二仲吉丸	2016.09～2019.08	改革型	○	
愛知県	もうかる	蒲郡漁業協同組合	蒲郡	蒲郡漁業協同組合	2015.02	寿丸	2015.09～2018.08	改革型	○	
福井県	もうかる	福井県漁業協同組合連合会	越前	越前町漁業協同組合	2013.07	圓生丸	2013.10～2016.09	改革型	○	
兵庫県	もうかる	但馬漁業協同組合	柴山	但馬漁業協同組合	2009.07	光春丸	2009.09～2012.08	改革型	○	
						西善丸	2010.09～2013.08	改革型	○	
			香住	但馬漁業協同組合	2015.02	鶴松丸	2015.09～2018.08	改革型	○	
		浜坂町漁業協同組合	浜坂	浜坂町漁業協同組合	2009.07	長勢丸	2009.09～2012.08	改革型	○	
					2018.03	幸榮丸	2018.09～2021.08	改革型		○
		兵庫県漁業協同組合連合会	但馬	兵庫県漁業協同組合連合会	2019.03	第一幸榮丸	2020.09～2023.08	資源管理・労働環境改善型		
						登代栄丸	2021.09～2024.08	資源管理・労働環境改善型		
	富美丸				2023.09～2026.08	資源管理・労働環境改善型				
鳥取県	もうかる	鳥取県漁業協同組合	賀露	鳥取県漁業協同組合	2008.01	第3生洋丸	2008.09～2011.08	改革型	○	
					2010.03	第1正東丸	2011.09～2014.08	改革型	○	
			網代	鳥取県漁業協同組合	2010.03	平成丸	2011.04～2014.03	改革型	○	
					2015.08	祥鳳丸	2016.09～2019.08	改革型	○	
島根県	もうかる	浜田市水産業振興協会	浜田	漁業協同組合 JF しまね	2011.08	第5・6あけぼの丸	2013.04～2015.03	マイルド型	○	

道府県	事業名	プロジェクト運営者	地区	事業実施者	認定日	船名	実証期間	タイプ	終 了	実 施 中
山口県	もうかる	山口県以東機船底曳網漁業協同組	下関	山口県以東機船底曳網漁業協同組	2011.06	第3・5やまぐち丸	2012.04~2015.03	改革型	○	
長崎県	もうかる	長崎県以西底曳網漁業協会	長崎	長崎県以西底曳網漁業協会	2016.05	第1・2長運丸	2016.10~2018.09	マイルド型	○	

<認定案件>32件（もうかる：25件 がんばる：7件）・13道府県・22地域・91隻（うち新船建造43隻）

表4 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（漁船リース事業）の取組状況（2019年9月現在）

道府県	広域プラン	広域委員会名	リース事業者	船名	新船・中古船	トン数
北海道	漁船漁業構造改革	北海道機船えりも以西広域漁船漁業構造改革委員会	(株)札幌北洋リース	第八十二萬漁丸	新船	192 トン
宮城県	浜の活力再生	宮城県底びき網漁業広域水産業再生委員会	(一社)宮城県水産業構造改革支援協会	第八宝来丸	新船	19 トン
				第21宝進丸	新船	19 トン
				第八東洋丸	新船	15 トン
茨城県	浜の活力再生	茨城県北部広域水産業再生委員会	茨城沿海地区漁業協同組合連合会	住吉丸	中古船	19 トン
				第一高栄丸	新船	19 トン
愛媛県	漁船漁業構造改革	全底連太平洋西部広域漁業構造改革委員会	四銀総合リース(株)	第十五・十六海幸丸	新船	125 トン
石川県	浜の活力再生	石川県広域水産業再生委員会	石川県漁業協同組合	愛明丸	中古船	15 トン
福井県	浜の活力再生	福井県広域水産業再生委員会(嶺北地域部会)	(一社)福井県漁船リース事業協会	栄吉丸	新船	18 トン
				田井丸	新船	19 トン
兵庫県	浜の活力再生	兵庫県広域水産業再生委員会(但馬広域部会)	(一社)兵庫県漁船リース協会	幸力丸	新船	56 トン
鳥取県	浜の活力再生	鳥取県広域水産業再生委員会	鳥取県漁業協同組合	明信丸	新船	120 トン
				昇運丸	新船	120 トン
				勢宝丸	新船	120 トン
				寶海丸	中古船	87 トン
			田後漁業協同組合	第二日光丸	新船	120 トン
				大成丸	新船	120 トン
				第二大生丸	新船	120 トン
				福宝丸	中古船	95 トン

<認定案件>8件・8道府県・20隻(新船16隻、中古船4隻)

表4 各地域の操業状況等の概要(2018年漁期)

1. 沖合底びき網漁業

都道府県	団体名	漁期 (月日～月日)	稼働隻数				総トン数 (トン)	乗組員数 1隻当 (名)	うち外国人実習生		水揚量		水揚金額		平均単価 (円/kg)	水揚金額上位5種				
			合計 (隻)	駆け回し (隻)	トロール (隻)	2そうびき (隻)			受入隻数 (隻)	受入人数 1隻当 (人)	全体 (トン)	1隻当 (トン)	全体 (百万円)	1隻当 (百万円)		1位 魚種名(比率)	2位 魚種名(比率)	3位 魚種名(比率)	4位 魚種名(比率)	5位 魚種名(比率)
北海道	北海道機船漁業協同組合連合会	7月1日～6月30日	36	31	5	0	125～160	13～18	0	0	159,689	4,435.8	14,661	407.3	91.8	スケトウダラ (37%)				
青森県	八戸機船漁業協同組合	9月1日～6月30日	12	12	0	0	75～160	9～15	3	2～3	6,735	561.3	2,453	204.4	364.2	スルメイカ (69%)	マダラ (7%)	ヤリイカ (6%)	カレイ類 (5%)	スケトウダラ (4%)
	青森県日本海機船底曳網漁業者会	9月1日～6月30日	3	3	0	0	19～40	6～7	0	0	906	302.0	274	91.3	302.4	ハタハタ (22%)	スルメイカ (21%)	マダイ (13%)	ヤリイカ (5%)	ホッケ (5%)
岩手県	岩手県底曳網漁業協会	9月1日～6月30日	12	2	0	10	75～85	8～10	0	0	12,179	1,014.9	2,213	184.4	181.7	スルメイカ (42%)	マダラ (13%)	スケトウダラ (13%)	キチジ (10%)	サバ類 (4%)
宮城県	宮城県沖合底びき網漁業協同組合	9月1日～6月30日	13	0	13	0	65～105	7～8	0	0	20,554	1,581.1	3,047	234.4	148.2	スルメイカ (24%)	サバ類 (24%)	ヤリイカ (18%)	マダラ (9%)	キチジ (7%)
	宮城県近海底曳網漁業協同組合	9月1日～6月30日	12	0	12	0	18～31	4～7	9	1～3	5,306	442.2	1,256	104.7	236.7	ヤリイカ (30%)	サバ類 (9%)	スルメイカ (8%)	アカイカ (7%)	ハバガレイ (6%)
福島県	福島県機船底曳網漁業組合連合会	1月1日～12月31日	32	0	32	0	17～47.57	4～7	0	0	1,326	41.4	707	22.1	533.2	ヒラメ (21%)	マアナゴ (14%)	ハバガレイ (10%)	オキナマコ (7%)	マガレイ (6%)
茨城県	茨城県沖底協会	9月1日～6月30日	6	0	6	0	19	4～6	0	0	1,093	182.2	680	113.3	622.1	イカ類 (33%)	オキナマコ (19%)	アオメエソ (8%)	ヒラメ (4%)	マアナゴ (4%)
	波崎底曳網漁業経営者協議会	9月1日～6月30日	2	0	2	0	15.25～19	6	2	2	299	149.5				ヤリイカ (43%)	オキナマコ (26%)	マアナゴ (5%)	アオメエソ (5%)	タコ類 (3%)
千葉県	銚子市漁業協同組合底曳部会	9月1日～6月30日	5	0	5	0	19～65	5～7	5	2～3	872	174.4	623	124.6	714.4	ヤリイカ (46%)	オキナマコ (21%)	マアナゴ (6%)	アオメエソ (3%)	マアジ (3%)
愛知県	愛知県沖合底びき網漁業協会	9月1日～6月30日	4	4	0	0	19～44	6～8	0	0	1,326	331.5	507	126.8	382.4	ムツ類 (23%)	アオメエソ (22%)	キンメダイ (9%)	ニギス (7%)	エビ類 (6%)
愛媛県	八幡浜漁業協同組合	9月1日～4月30日	2	0	0	2	125	9～11	2	2～3	685	342.5				ケンサキイカ (53%)	イボダイ (8%)	マダイ (7%)	コウイカ (6%)	ハモ (2%)
秋田県	秋田県沖合底曳網漁業協議会	9月1日～6月30日	15	15	0	0	15～35	4～5	0	0	896	59.7	422	28.1	471.0	ハタハタ (35%)	マダラ (6%)	ズワイガニ (6%)	ポタンエビ (5%)	スルメイカ (5%)
山形県	山形県機船底曳網漁業協議会	9月1日～6月30日	1	1	0	0	19	3	0	0	145	145.0				ホッコクアカエビ (34%)	マダラ (16%)	ハタハタ (11%)	ホッケ (11%)	ズワイガニ (7%)
新潟県	新潟県機船底曳網漁業協会	9月1日～6月30日	1	1	0	0	29	6	0	0	117	117.0				ホッコクアカエビ (83%)	ズワイガニ (5%)	アカムツ (2%)	カスベ (2%)	トゲクロザコエビ (1%)
石川県	石川県底曳網漁業組合	6月1日～5月31日	13	13	0	0	15～19	4～6	9	1～3	1,517	116.7	1,114	85.7	734.3	ホッコクアカエビ (36%)	ズワイガニ(オス) (22%)	ニギス (15%)	アカガレイ (7%)	ズワイガニ(メス) (6%)
福井県	福井県底曳網漁業協会	9月1日～8月31日	27	27	0	0	15～91	5～7	2	4	1,505	55.7	1,988	73.6	1,320.9	ズワイガニ (51%)	ホッコクアカエビ	アカガレイ		
京都府	京都府機船底曳網漁業連合会	9月1日～5月31日	5	5	0	0	17～19.96	5～6	0	0	195	39.0	244	48.8	1,251.3	ズワイガニ (80%)	ニギス (4%)	アカガレイ (3%)	アカムツ (2%)	ソウハチガレイ (2%)
兵庫県	兵庫県機船底曳網漁業協会	9月1日～5月31日	48	48	0	0	19～144	6～11	38	1～4	8,750	182.3	8,120	169.2	928.0	ズワイガニ (53%)	ホタルイカ (20%)	カレイ類 (9%)	エビ類 (8%)	ハタハタ (5%)
鳥取県	鳥取県沖合底曳網漁業協会	9月1日～5月31日	24	24	0	0	72～120	8～11	22	1～3	4,779	199.1	4,798	199.9	1,004.0	ズワイガニ (49%)	アカガレイ (13%)	ハタハタ (9%)	ホタルイカ (8%)	ソウハチガレイ (4%)
島根県	島根県機船底曳網漁業連合会	8月16日～5月31日	14	0	0	14	75～95	10～11	14	3～4	3,706	264.7	1,866	133.3	503.5	カレイ類 (21%)	アカムツ (13%)	ケンサキイカ (10%)	マアナゴ (10%)	フグ類 (7%)
山口県	山口県以東機船底曳網漁業協同組合	8月15日～5月31日	14	0	0	14	60～90	9～12	14	2～3	3,315	236.8	2,007	143.4	605.4	アカムツ (42%)	カレイ類 (20%)	キアンコウ (14%)	タイ類 (14%)	イカ類 (10%)

2. 以西底びき網漁業

都道府県	団体名	漁期 (月日～月日)	稼働隻数				総トン数 (トン)	乗組員数 1隻当 (名)	うち外国人乗組員		水揚量		水揚金額		平均単価 (円/kg)	水揚金額上位5種				
			合計 (隻)	駆け回し (隻)	トロール (隻)	2そうびき (隻)			受入隻数 (隻)	受入人数 1隻当 (人)	全体 (トン)	1隻当 (トン)	全体 (百万円)	1隻当 (百万円)		1位 魚種名(比率)	2位 魚種名(比率)	3位 魚種名(比率)	4位 魚種名(比率)	5位 魚種名(比率)
長崎県	長崎県以西底曳網漁業協会	7月14日～5月8日	8	0	0	8	114～164	11～13	8	5～9	4,025	503.1				キダイ (33%)	アカムツ (16%)	マダイ (12%)	カイワリ (4%)	アカイカ (3%)

* 会員所属の経営体が3者未満の場合は、原則水揚金額及び平均単価は表記しない。
 * 福島県については、原発事故の影響により操業自粛中のため、試験操業のデータを記載。

表6 沖合・以西底びき網漁業における資源管理計画の概要

都道府県名	重点的に取り組む事項
北海道	漁獲量上限の設定（スケトウダラ、スルメイカ）、 操業隻日数上限の設定（スケトウダラ）、休漁（スケトウダラ）
青森県	漁獲量上限の設定（スケトウダラ、スルメイカ）、休漁（スケトウダラ、カレイ類等）
岩手県	漁獲量上限の設定（スケトウダラ、スルメイカ）
宮城県	漁獲量上限の設定（スケトウダラ、スルメイカ、ズワイガニ）
福島県	漁獲量上限の設定（ズワイガニ、スケトウダラ）
茨城県	漁具の制限（カレイ類等）、種苗放流（ヒラメ）
千葉県	休漁（カレイ類等）
愛知県	休漁（アオメエソ、ニギス等）
三重県	休漁（アオメエソ、ニギス等）
愛媛県	休漁（ヤリイカ等）
秋田県	休漁（ハタハタ等）
山形県	休漁（カレイ類等）
新潟県	漁獲量上限の設定（スケトウダラ、ズワイガニ）
石川県	休漁（カレイ類等）、漁獲量上限の設定（ズワイガニ）
福井県	漁獲量上限の設定（ズワイガニ）、漁獲物の規制（ズワイガニ）
京都府	休漁（カレイ類等）、漁獲物の規制（ズワイガニ）
兵庫県	漁獲量上限の設定（ズワイガニ）、漁獲物の規制（ズワイガニ）
鳥取県	漁獲量上限の設定（ズワイガニ）、漁獲物の規制（ズワイガニ）
島根県（1そうびき）	漁獲量上限の設定（ズワイガニ）、漁獲物の規制（ズワイガニ）
島根県（2そうびき）	休漁（カレイ類等）、種苗放流（ヒラメ）
山口県	漁具の規制（アカムツ）、種苗放流（マダイ）
長崎県（以西底びき）	漁具の制限（カレイ類、タイ類及びイカ類等の底魚類）、種苗放流（マダイ等底魚類）

データブックに関する問い合わせについて

一般社団法人全国底曳網漁業連合会

〒105-0003

東京都港区西新橋1-1-3 虎ノ門アサヒビル6階

TEL : 03-3508-0361

FAX : 03-3508-0364

担当者 : 小川 (t_ogawa@zensokoren.or.jp)